

第7章

環境保全啓発活動

第7章 環境保全・啓発活動

—持続可能な社会を目指して—

私たちが、大量生産・大量消費・大量廃棄の活動により地球温暖化や生物多様性の損失といった地球環境問題につながっています。

環境を保全し、持続可能な社会の推進のためには、環境に配慮した行動やライフスタイルを実践、継続して行うことが大切です。

本市では、持続可能な社会の実現に向け、市民への環境保全活動・活動の啓発等を実施しました。

環境教室やかたの環境講座の開催などの啓発・学習事業を展開するとともに、環境基本計画の推進など市民と協働の取組を推進しました。また、市役所の事務事業からの環境負荷低減については、平成 28 年度から独自のシステム(交野市環境マネジメントシステム:K-EMS)の運用を開始しています。

1. 環境教育

地球温暖化対策をはじめとする環境問題への対策は、市民一人ひとりの行動変容が求められます。環境とそれに関わる問題に気づき、関心を持つことから行動に繋がられるよう、各種事業を展開しました。

(1) 夏休み環境教室

市民の児童を対象に、ライト付き手回し発電機の工作を通じてエネルギーについての体験学習を実施しました。

実施日:平成 30 年 8 月 8 日(水)

場 所:交野市役所別館 3 階

参加者:20 名

講 師:環境衛生課

(2) かたの環境講座

自然とのふれあいの中から、環境の大切さ・貴重さに気づき、環境を守る行動への喚起となるよう、大阪市立大学理学部附属植物園と共催で 5 回開催しました。

第 1 回 「セミの大変身」

日 時:平成 30 年 7 月 24 日(火)18:00~20:30

講 師:龍谷大学 准教授 谷垣 岳人 氏

受講者数:39 名

第 2 回 「タケの不思議発見！」

日 時:平成 30 年 9 月 29 日(土)13:30~16:00

講 師:大阪市立大学 准教授 植松 千代美 氏

受講者数:11 名

第 3 回 「生きた化石メタセコイアの謎」

日 時:平成 30 年 10 月 27 日(土)13:30~16:00

講 師:大阪市立大学 教授 大久保 敦 氏

受講者数:19 名

第 4 回 「森の魔術師・紅葉の不思議」



第4回 「森の魔術師・紅葉の不思議」

日時:平成30年11月23日(金)10:00~12:00

講師:大阪市立大学大学院 准教授 名波 哲 氏

受講者数:38名

第5回 「転がる、動物の食べ残し」

日時:平成30年12月8日(土)10:30~12:00・14:00~17:00

講師:NPO法人やまと自然と虫の会 伊藤 ふくお 氏

受講者数:40名

(3)学校での環境教育

交野の地域資源である里山を保全するとともに、環境に対する児童の意識醸成を図ることを目的として、小学校の授業にて、竹の伐採、竹工作等の体験を含めた環境教育を実施しました。

対象:私市小学校4年生(2クラス62名)

日時:11月19、21日

講師:交野市環境基本計画推進会議自然環境部会

協力:交野市環境基本計画推進会議、交野里山ゆうゆう会、龍谷大学生

2. 市民との協働の推進

環境フェスタ in 交野 2019 の開催

「環境を守る=いのちを守る」をテーマに暮らしの中から様々な環境を考え、地球環境問題、身近なゴミ問題、里地・里山保全など自然環境問題等について、広く市民に啓蒙・啓発し、環境に関する団体間の交流を図ることで、市民一人ひとりの行動を喚起することを目的に、かたの環境フェスタ市民会議と共催で開催しました。

日時:平成31年3月10日(日)

場所:星の里いわふね

来場者数:2,000名

3. 環境基本計画の推進

環境基本計画の推進に関する普及啓発

ウォークラリーを開催し、315名の参加がありました。ウォークラリーでは、環境に関するクイズやゲームを実施する中で、里山を楽しんでもらい、環境についての啓発を行いました。また、公共施設見学では全2回実施、のべ62名の参加がありました。

環境フェスタへの出展、ウェブサイトの公開を通じて、交野市環境基本計画及び交野市環境基本計画推進会議について、周知を行いました。

交野市環境基本計画推進会議(交野みどりネット)と協働で4つの分野ごとに基本計画にあるプロジェクトを推進しました。

(1)自然環境分野

プロジェクト1「里山を知ろう・里山大好き」では、自然環境についての知識と保全活動の意義を周知するため、観察会を2回実施し、のべ47名の参加がありました。

プロジェクト2「実践!里山保全活動」のでは、実践活動を30回行い、里山の整備・保全に努めました。のべ参加者は217名でした。

(2)エコ生活分野

プロジェクト2「やる気がでるエネルギーダイエット」では省エネを行う意義と実践に向けての講義として春~夏にかけてはみどりのカーテン、エコクッキングを実施し、のべ111名の参加がありました。みどりのカーテンについては公共施設3ヶ所で巡回写真展を行い、みどりのカーテンの取り組みをアピールしました。

(3) エネルギー分野

プロジェクト 1「そらいけ！ソーラーパネル」に関する講座では、太陽光発電の仕組みを学習し、ミニ太陽光発電システムを組み立てることで、太陽光エネルギーについての知識を高めました。参加者は 11 名でした。

プロジェクト 2「星のまち☆エコドライブ」の普及のために自動車と自転車の運転について 2 回セミナーを行い、ステッカーを進呈しました。参加者はのべ 46 名でした。

(4) まちづくり分野

プロジェクト 1「自転車の似合うまち・かたの」では、市内を巡るサイクリングツアーを 2 回行い、自転車の安全・安心・楽しい乗り方の啓発活動を行いました。のべ参加者は 62 名でした。

4. 環境マネジメントシステムの推進

LAS-E(Local Authority's Standard in Environment:環境自治体スタンダード)に沿った環境マネジメントシステムを構築し、19 年 6 月より運用を開始してきました。平成 28 年度からはこれまで LAS-E で構築したノウハウを生かし、K-EMS(交野市環境マネジメントシステム)を導入しました。

本市事務事業における環境負荷の低減のため K-EMS 運用し、温室効果ガス排出量の削減に努めました。

(1) 会議・研修の開催

環境マネジメントシステムの円滑な運用を目的に、推進本部会を 4 回開催しました。

実行責任人者及び職員に対し、環境マネジメントシステムへの理解、取組内容の熟知、環境問題への理解等を目的に、研修を 3 回実施しました。

(2) 監査の実施

環境マネジメントシステムの適正な運用を点検・評価するため、内部監査(自己監査)と市民、事業者、職員からなる監査チームによる外部監査(2次監査)を実施しました。

○内部監査(自己監査)

実施日:平成 30 年 10 月 15 日～平成 30 年 10 月 31 日

○2次監査

実施日:平成 30 年 11 月 27 日

対象部局 26 部局(事務局含む)

推進本部員 10 名

監査員 15 名(市民 5 名、市職員 5 名、専門家・事業者 5 名)

○監査結果概要

対象部局(優良:82 件、改善提案:7 件、指摘:1 件)

推進本部員(優良:13 件、改善提案:1 件、指摘:0 件)

(2) 目標達成状況

K-EMS では事務事業において排出される温室効果ガスの削減及び環境負荷低減のため、目標を掲げ、省エネルギー・省資源の取組を推進しています。平成 30 年度の目標及び結果は次のようになりました。

①平成 30 年度 温室効果ガス削減取組結果一覧

温室効果ガス排出量については、平成 26 年度を基準として、平成 32 年度までに 5%削減することを目標としています。

| 項 目 | H30 結果 | 基準値 【H26 年度】 | 削減率 |
|-----------------------------------|------------|-----------------|--------|
| 電気使用量 (kWh) | 13,481,212 | 14,180,522 | 4.9% |
| ガソリン使用量 (ℓ) | 59,657 | 57,294 | -4.1% |
| 軽油使用量 (ℓ) | 57,227 | 67,632 | 15.4% |
| 灯油使用量 (ℓ) | 14,993 | 168,152 | 91.1% |
| LPG 使用量 (kg) | 20,274 | 18,923 | -7.2% |
| 都市ガス使用量 (m ³) | 493,037 | 248,577 | -98.3% |
| 温室効果ガス排出量 (t-CO ₂) | 7,371 | 8,782 | 16.1% |

②平成 30 年度 環境負荷低減取組結果一覧

| 項 目 | 目 標 | H30 結果 | 基準値 | 削減率 |
|------------------------|---------------------------------|-----------|-----------|--------------|
| 水使用量 (m ³) | H32 年度までに H26 年度比 5.0%削減 | 144,394 | 157,929 | 2.5% |
| 廃棄物の排出量 (袋) | H29 年度より削減 | 38,579 | 52,793 | 26.9% |
| コピー用紙の購入量 (枚) | H29 年度より削減 | 8,948,381 | 8,053,075 | -11.1% |
| 太陽光発電の設置数 (基) | H26 年度を基準として、H32 年度までに 3 基以上設置 | 0 | — | 既設置数 5 |
| 低公害車の導入量 | H26 年度を基準として、H32 年度までに 10 台以上導入 | 1 | — | 既導入台 数 11 |
| 環境に配慮した施策事業数 | 環境に配慮した施策・事業の数を前年度より増加 | 68 | 63 | — |